

平成15年 4月 8日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一

プレベンチャー事業で「間葉系幹細胞の移植技術」を開発
間葉系幹細胞を用いた再生医療に関わる、細胞・医療品・材料・機器等の
開発・製造・販売を行う大学発ベンチャー設立について

このたび、科学技術振興事業団プレベンチャー事業において平成12年度より開始しました研究開発課題「骨・軟骨組織の再生療法」の研究開発チーム(リーダー:加藤幸夫(広島大学大学院医歯薬総合研究科 教授), サブリーダー:辻紘一郎)のメンバーが、間葉系幹細胞の超増幅技術などを利用して、再生医療に関わる、細胞/医療品/材料/機械などの開発、製造、販売を行う大学発ベンチャー会社(ツーセル)を4月10日に設立し、下記のとおり記者会見を行いますので、お知らせいたします。

※間葉系幹細胞:間葉系幹細胞とは、胎児にしかない胚性幹細胞と異なり、患者の骨髄から容易に分離することができる。また、軟骨、骨、脂肪、腱、筋肉、神経などへと分化する能力をもっているため、再生医療で用いる移植用細胞としては、最も有望である。

記

日時 平成15年4月10日(木)10:00～
場所 広島大学 歯学部 大会議室
出席者 丹根一夫 歯学部長
栗原英見 歯学部附属病院長
加藤幸夫 教授(チームリーダー)
辻紘一郎 (サブリーダー)

【お問い合わせ先】

広島大学大学院医歯薬総合研究科
教授 加藤 幸夫
TEL:(082)257-5628
(ダイヤルイン)

[発信枚数;A4版 1枚(本票含む)]